



# 新星

Shinsei  
2019 Vol.29

2019年2月20日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei 編集部

〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号

TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

題字：松本 寿美子



## CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
- 3 長崎市障がい者アート作品展／V・ファーレン長崎の高田社長が来院
- 4 院内勉強会「感染予防を考える」・「お酒と健康」
- 5 平成30年度高次機能障害支援研修会の報告／  
精神保健福祉士実習指導者講習会に参加
- 6 行動制限最小化委員会全体研修
- 7 風邪について／病棟紹介②
- 8 長崎市自衛消防隊初期消火操法競技大会に参加して

## 基本理念 患者第一主義

### 基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます





理事長 松本 純隆

新しい年を迎えるにあたって皆様にご挨拶させていただきます。

旧年中は皆様方に格別のご支援をいただきありがとうございます。平成30年を振り返りますと西日本豪雨や北海道地震といった天災が続きました。昨年末の今年の漢字で「災」が選ばれたことでわかると思います。被災された方々に、謹んでお見舞申し上げますと共に、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

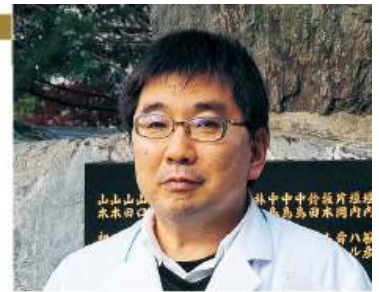
平成31年は何と言っても天皇陛下の御譲位、御即位に伴い、新しい元号が始まります。文字通り新しい年を迎える訳です。もちろん期待も大きいのですが、なかなか景気の回復も感じられません。少子高齢化の問題も、消費税率の引き上げ問題もありますが、一歩ずつ足元を見つめて進むしかないと考えます。

さて、道ノ尾病院においては平成30年も大きな事故もなく、患者の皆様方の精神科医療に取り組むことが出来ました。院長の松本一隆、副院長の松本俊二、副院長の立木均を中心に精神障害者の治療、社会復帰、就労支援などにも積極的に取り組みました。高齢化社会に伴い認知症を中心とした治療、教育活動も副院長の芹田巧を中心に多くのスタッフが携わっております。

隣接する虹が丘病院は平成30年4月より、念願でした整形外科の常勤医を3名採用することができました。高齢者の受診が増え、骨折などの整形外科領域の拡充が望まれていましたので、大変良かったと考えています。治療だけでなく、ロコモなどの予防活動にも更に取り組みたいと思います。そのために外来の診療室やレントゲン設備の内装工事も終了しました。おかげさまで外来の受診者が増えています。駐車場の改修工事も始めましたので、騒音等ご迷惑をかけますが、今年の8月頃には新しい駐車場が出来るはずですので、ご理解をお願いします。また、高齢者対策のため敷地内に「住宅型有料老人ホーム」を計画しています。地域の皆様のために何が出来るかを常に考え、職員と一緒に道ノ尾病院・虹が丘病院を中心とした厚生会グループの姿をお見せしたいと考えておりますので、皆様方のご支援を引き続きお願い申し上げます。

なお、V・ファーレン長崎がJ2に降格となりました。応援を長年させていただいておりますが、昨年末に高田明社長が来院され、お願いされたこともあり、ホームゲームでの広告を昨年より大きくすることにしております。是非会場でご確認いただければと考えております。併せてのご支援をお願い申し上げます。

# 新年のご挨拶



院長 松本 一隆

平成31年を迎えるに当たり、御挨拶申し上げます。

旧年中におきましては、長崎市内外の医療機関を初め、患者様の治療や支援に携わって下さった様々な障害者関連、高齢者関連の施設や事業所、その職員の方々には大変お世話になり、御礼申し上げます。おかげ様で、当院も1年間を乗り切ることができました。昨年は、診療報酬改定の年で、精神科病院においても、厳しい改定になりました。医療費削減のため、入院患者さんの早期退院、在院患者さんも病院外での生活を推し進める国の方針に当院も目をそむけるわけにはいかず、病院全体で地域移行を可能な範囲で進めてきました。病院スタッフは元より、患者様の退院資源を提供して下さった事業所や施設、職員の皆様の御協力があり、一定数の患者様が退院し、病院外での生活が送れるようになりました。一方で、当院を新規に受診される患者様は、気分障害圏内、不安障害圏内、最近では発達障害を持ち合わせた方が増加しております。また、高齢化社会に伴う認知症の増加とともに、認知症患者様の受診、入院が急激に増えております。認知症の周辺症状で困っておられる家族、身体科医療機関より多くの受診、入院依頼があり、当院もそのような方を受け入れる役割として可能な限り受け入れる体制をとっております。しかし、一旦入院をされると、周辺症状が改善して退院できる患者様以外に、経年的な認知症の進行や誤嚥や薬剤性の肺炎や、転倒・骨折、その他身体合併症の併発、悪化によるADLの低下、治療も長期化し、家族や施設が受け入れ困難となったり、受け入れ施設が見つからないという場合もあり、結果的に長期入院に至るケースも多いのも現状です。元来よりの入院患者様も高齢化しており、今や当院の入院患者様の平均年齢は約70歳に達しております。そうなると、病棟現場は、本来の精神科看護だけでなく、食事や入浴、排泄などの介護を要し、現場の職員は疲弊状態に陥っているように思います。

今年は、4月に平成天皇陛下が退位され、新しい時代に入ることより、平成最後の年になります。新しい時代に入るといふ新鮮な気持ちになる反面、10月には消費税増税も行われ、その後の医療機関の運営にも影響が出てくると思われます。ただ、そういう中でも、当院の地域での役割は見失わないように、職員一同、地域のために貢献していけるよう努力していきたいと思っております。今年も御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



## 長崎市障がい者アート作品展

平成31年2月長崎市立図書館メモリアルホールにおいて、第8回長崎障害者アート作品展が開催されました。障がい者のアート作品に触れる機会をつくり、理解を深めていただくことを目的としています。

障害者の自立と社会参加が推進されている現在当院デイケアからも積極的に参加し、取り組んでいます。

デイケアに通所し、日々の活動に参加する事で楽しさ、喜び、達成感をわかち合い、継続性を培っています。書道、陶芸と講師のご指導を受けながら、手芸、工作、塗り絵、絵画、各グループの創作等デイケアメンバーとスタッフがー丸となって、熱心に取り組んでいる姿があり、本当に温かい空気が漂っています。完成した時のメンバーさんの喜びは何事にも変えがたいものがあり、逆にメンバーさん方から力を貰ったりすることも多々あります。

過去の作品展では市長賞、優秀賞、佳作を受賞することができ、毎年楽しみにしています。



## V・ファーレン長崎の高田社長が来院!



2018年1月8日、V・ファーレン長崎の高田明社長が来院されました。

医療法人厚生会道ノ尾病院は長年サポートを続けています。2019年のサポートカンパニーの契

約更新にあたり、高田社長が初めて来院されました。松本純隆理事長より本院の歴史や理事長の生い立ちなどを約1時間話され、高田社長からはV・ファーレン長崎をより強くしたいという強い思いを伺いました。高田社長の熱いオーラを感じて、同席した方全員を引き付けておられました。

ちょうどJ1残留をかけて、熱戦を繰り広げている時期であり、選手の活躍だけでなく、支えるスタッフの重要性を感じました。

残念ながら12月1日の最終試合は勝利することができませんでしたが、松本俊二副院長夫妻が観戦することが出来ました。2019年はJ2でのスタートとなりますが、必ずや1年でJ1に復帰できるように奮起してもらえるはずと考えています。本院も昨年以上にサポートカンパニーとして応援することを誓い、契約更新を進めています。ホームゲームでは会場内に厚生会道ノ尾病院の広告が大きく出る予定です。職員、ご家族の皆様方にも引き続き応援の程お願い申し上げます。



当院ではインフルエンザ・ノロウイルス感染シーズン前に手洗いの実践を兼ねた院内勉強会を実施しています。

**ノロウイルス感染症**とは、冬場に多発し感染力が非常に強く、アルコール消毒剤や熱に抵抗力があり何度も感染します。**診断・治療**は、臨床症状だけでは特定できず、効果のある抗ウイルス剤はありません。脱水に注意して水分と栄養補給。**感染を予防するためには**、排便や吐物の適切な処理、手に付着したウイルスの適切な手洗いで感染経路を絶つことが重要です。

### 汚染処理時のポイント

#### ★感染防止品の装着

～処理従事者の感染防止及び感染拡大防止

#### ★立ち入りの制限

～処理従事者以外は汚物に近づけない

#### ★十分な換気

～換気を行って室内のウイルス量を減らす

#### ★効果的な殺菌剤の使用

～処理時にすぐ使用できるよう適切な濃度で準備すると良い

#### ★広範囲の清浄化

～ウイルスは広く飛散、高く舞い上がる

#### ★処理後の手洗いとうがい

～処理後は2度手洗い



### 手洗いのデモンストレーション

注！水道水だけでの手洗いは危険！しっかり消毒をしよう！



手洗い前



手洗い後



ブラックライト Box を使った  
手洗い実践



**インフルエンザ**とは、上気道炎症症状のほか、急激な38℃以上の高熱や頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感の症状が急速に現れます。迅速キットで90%は**診断**でき、**治療**は内服薬、吸入薬、点滴静注薬があります。**感染を予防するためには**、予防接種、適切な手洗い、マスク着用が重要です。

**\*病院内にウイルスを持ち込まないために、手洗いとマスクの着用をお願い致します。**

社会の中ではいまだに飲酒運転による事故のニュースが聞かれます。当院では、啓蒙活動も兼ねてアルコール担当スタッフによる院内勉強会が毎年開かれています。

★**お酒のメリット**～楽しい気持ちになる・人とうまく話せるようになる・ストレス解消。デメリット～お金がかかる・判断力を失い失敗・健康（身体面、精神面）を損なう

★**上手にお酒を飲む** `コツ、～できれば週2日の休肝日を設ける。飲む量を事前に計画して飲み終わりの時間も考えて飲む。薬を飲んだ後や運動中は飲酒しない。飲酒後の入浴・サウナはアルコールが早く分解する訳ではなく、不慮の事故につながる。（寝たとしてもアルコールの分解は遅くなる）

★**翌日飲酒運転にならない飲み方**～朝8時から運転するためには前日何時までに飲み終われば良い？

アルコール飲料の単位は純アルコール約10gを1ドリンク :WHO（世界保健機関）で定義  
アルコール20g（2ドリンク）だと、体内から消失するのに通常約4時間かかる。

例）ビール500mlを2杯+焼酎（5：5）1杯では約アルコール60g（6ドリンク）のアルコールを含む。  
したがって、体から消失するには、約12時間かかることになる。（個人差はある）

\* `あなたの大事な人、の飲み方に問題がありそうなら誰か周囲の人に相談して下さい。  
それでも解決しないとき、よろしければ当院のアルコールスタッフにご相談ください。



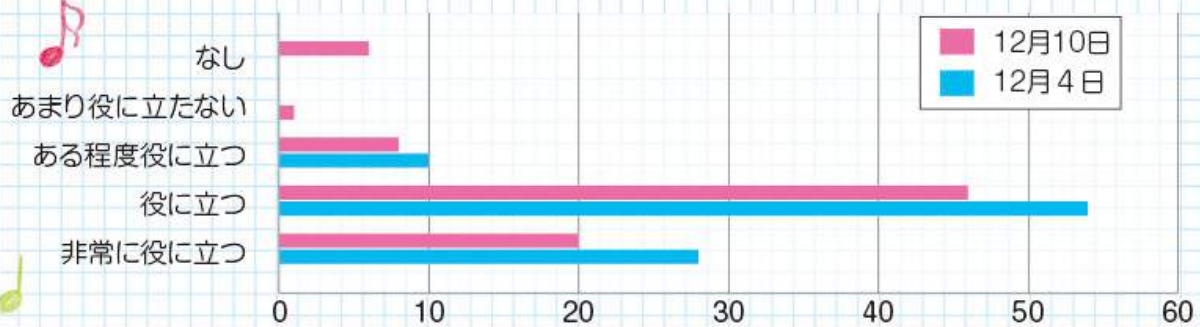






# 行動制限最小化委員会全体研修

研修会で得られた知識が今後の実務に役立ちますか



平成30年12月3日、10日に「各病棟の取り組み」をテーマに13病棟の各代表から発表をしてもらいました。6年ぶりの企画でしたが、この6年で各病棟のレベルアップが分かる発表ばかりでした。高齢化が進む当院ですが行動制限は減少傾向にあります。それは病棟スタッフの取り組みの努力があるからだと改めて感じました。



現在拘束中の患者様を受け持っています。日中の精神症状の変化が著しく疎通がとれたりとなかなかたりして、なかなか解除に持って行けません。しかし、やってみようと考えました。まず、スタッフ間の連携・家族への説明・環境を整えることからやってみようと思います(看護師)



# 風邪について



今の時期の風邪は環境的な要因として

1. ウイルスの流行
2. 寒さ
3. 乾燥（ウイルスが活発に）

このような環境下で（疲れなどで）免疫力が低下してしまうと・・・**風邪をひく**

**まずは風邪を引かないように予防・そして感染の拡大を防ぐ!!**

外出後はしっかりうがい・手洗いを!!（風邪予防の基本）  
適度な湿度を保つ!!（ウイルスが好む環境を作らない）  
マスクの着用!!（ウイルスを広げない）

**風邪を引いたら・・・**

- 保温** 体を冷やさないためにしっかり保温
- 睡眠** 免疫力をアップ
- 栄養** 十分な栄養と水分補給

風邪を引いた時に過去に処方されたくすりを自己判断でのんでいませんか？

その薬、あなたの現在の症状に合っているでしょうか？

→古くなった風邪薬は、使用期限が切れて、くすりの効果が低下しているかもしれません。

→症状にあったくすりでなければ風邪が長引く原因になります。

## <インフルエンザ対策>

→出来るだけワクチン接種を!!

→インフルエンザの治療薬などきちんと医師の指示通り飲みきらなければならない薬もありますので、くすりは用法・用量をきちんと守って服用しましょう。

## 連載12回目 B-3病棟のご紹介です

# 部署紹介コーナー

### 部署の特徴

男女混合療養型の閉鎖病棟です。禁煙病棟でもあります。  
更年期から老年期の長期入院患者が大半を占めており、ADLの援助、OT活動を中心に慢性期治療を行っています。



### スタッフ紹介

病棟師長：1名      看護主任：1名  
看護スタッフ：13名   介護福祉士：3名  
看護アシスタント：2名   合計：20名

### ○スタッフの資格

電気工事士、危険物取扱い乙4、  
高所作業車免許、英検3級と4級、手話、  
書道8段、SST初級・中級、ケアマネジャー、  
調理師、そろばん1級、簿記2級、  
デジタル第1種、住環境福祉コーディネーター、  
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者、  
認定電気工事従事者、小型重機

### ○部署の研究

「精神科看護従事者の職場ストレスの現状」  
～メンタルヘルスケアと精神的健康度調査～



10  
24

## 長崎市自衛消防隊初期消火操法競技大会に参加して

男子チーム 看護部 楠本 浩平

柿泊運動競技場で行われた自衛消防初期消火操法に男性3名、女性3名の計2チームで出場しました。練習は10月中にわずか4回という少ない日数でしたが、十分に優勝を狙えるところまで仕上がっていました。が、男性は残念ながら17位という結果となってしまいました。昨年準優勝だったことと、その場の雰囲気でのプレッシャーを感じてしまったことが今回の原因だったと思います。

実際に火事が起きた時はプレッシャーを感じたからと言って対応が遅れると大きな火災に繋がる可能性があります。競技大会で練習したから大丈夫、と思わずに日頃から反復練習を行い意識付けしていくことが大切だと感じました。

今年度の大会は防災に対する意識を改めて考えることができた良い機会だったと思います。応援ありがとうございました。

女子チーム 看護部 八幡 友梨子

長崎市自衛消防隊初期消火操法競技大会が行われました。

男子の部19チーム、女子の部5チームが屋内消火栓操法に出場しました。

結果は惜しくも男女共に優勝とはなりませんでしたが、女子チームは敢闘賞を頂くことができました。

練習では、実際に活躍されている消防士の方々に指導していただき消火訓練を学ぶ貴重な体験ができました。また、大会を通して今回参加したメンバー1人1人が日頃の防災への意識を高くもつことの大切さや、実際に火災が起きた際には「速さ」と「チームワーク」が重視されてくることだと身をもって感じました。

これからは業務に活かしていきたいと思います。この度は、皆様のご協力と温かいご声援ありがとうございました！



©2010 VVN

# 道ノ尾病院は V・ファーレン長崎を応援しています



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーションかいこう
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
- みちのおメンタルクリニック ○れいんぼうハウス滑石

社会福祉法人新生会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<http://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索

パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやAndroid端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末 (iPhone・iPad) は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示



モバイルの方



スマートフォンの方